

経営学部 第 1 部 ビジネス法学科 2022 年度入学生
履修ガイダンス資料

1 卒業に必要な単位数

合計 124 単位

⇒『履修のてびき』P.9

⇒『履修のてびき』

P. B-10

分野・区分				必要単位数		
全学共通科目	外国語科目		必修外国語科目 * 1ヶ国語 or 2ヶ国語	第 1 外国語 8 単位	8 単位	合計 24 単位
			or			
			第 1 外国語 4 単位		8 単位	
			第 2 外国語 4 単位			
	選択外国語科目					
	広域科目		①思想と文化		2 単位以上	
			②歴史と社会		2 単位以上	
			③健康とスポーツ		2 単位	
			④自然と生活		2 単位以上	
			⑤データサイエンスと数理			
⑥キャリア形成科目			2 単位以上			
⑦共通特殊講義						
(A) 学部基礎科目	必修科目		経営学Ⅰ 経営学Ⅱ		4 単位	
	選択科目		会計学（初級）Ⅰ 会計学（初級）Ⅱ 会計学（中級）Ⅰ ※1 会計学（中級）Ⅱ ※1 ビジネス法 アカデミックスキル 情報実習Ⅰ 情報実習Ⅱ		8 単位	
学科専門科目	(B) 選択科目	学科必修科目	民法Ⅰ（総則） 民法Ⅱ（物権） 民法Ⅲ（担保物権） 民法Ⅳ（債権総論） 民法Ⅴ（契約法）		10 単位	
		基幹科目			44 単位	
		展開科目				
		法実習科目				
		融合科目				
	(C) 選択科目	(a)			24 単位	
		(b)	本学科に配当されていない第 1 部経営学科、 第 2 部経営学科の科目。			
		(c)	全学共通科目[外国語科目・広域科目]の余剰 単位、全学共通科目[オープン科目]			
		(d)				
	(D) 演習科目				10 単位	

※1. 全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計学（初級）Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計学（中級）Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければならない。

1 必修外国語科目 8単位必修

【1ヶ国語選択者】 第1外国語のみを“1年～2年次にかけて”履修

学年	春学期	秋学期
1年次	**語Ⅰa (1単位)	**語Ⅱa (1単位)
	**語Ⅰb (1単位)	**語Ⅱb (1単位)
2年次	**語Ⅲa (1単位)	**語Ⅳa (1単位)
	**語Ⅲb (1単位)	**語Ⅳb (1単位)

【2ヶ国語選択者】 第1外国語と第2外国語を“1年次に”履修

(第1外国語、第2外国語)各4単位

学年	春学期	秋学期
1年次	▲▲語Ⅰa (1単位)	▲▲語Ⅱa (1単位)
	▲▲語Ⅰb (1単位)	▲▲語Ⅱb (1単位)
	●●語Ⅰa (1単位)	●●語Ⅱa (1単位)
	●●語Ⅰb (1単位)	●●語Ⅱb (1単位)

2 選択外国語科目

修得単位は、広域科目の単位として振り替えることができる。

3 広域科目

- * ①思想と文化、②歴史と社会、③健康とスポーツ、④自然と生活、⑥キャリア形成科目
それぞれから2単位ずつ必要。
この条件を満たして、外国語科目と合わせて24単位以上になるように適宜履修。
- * ③健康とスポーツ
◇『～方法学』科目は1年の秋学期から履修可能。
◇1科目2単位を超えての履修はできない。
- * ⑥キャリア形成科目
◇2科目4単位を上限とし、これ以上は学科専攻科目への振り替えもできない。
- * 24単位を超えてしまった場合
◇全学共通科目〔オープン科目〕の修得単位とあわせて、(C)選択科目に振り替えられる。(最大8単位まで)

4 (A) 学部基礎科目 (必修科目)

4単位必修。

5 (A) 学部基礎科目 (選択科目)

8単位必要。
1年次に全6科目を履修することが望ましい。
8単位を超える単位は、(B)選択科目に振り替えられる。

★大学が指定するクラスで極力履修すること。

学年	春学期	秋学期
1年次	会計学(初級)Ⅰ	会計学(初級)Ⅱ
	情報実習Ⅰ	情報実習Ⅱ
	ビジネス法	アカデミックスキル
	アカデミックスキル	アカデミックスキル
	会計学(中級)Ⅰ	会計学(中級)Ⅱ

※全て2単位科目

※全商簿記1級または日商簿記2級以上を取得している学生は、「会計学(初級)Ⅰ・Ⅱ」に代わって、「会計学(中級)Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければならない。

6 (B) 選択科目 (学科必修科目)

10単位必修。大学が指定するクラスで履修すること。

1年次	2年次～	3年次～
	民法Ⅰ(総則)	民法Ⅲ(担保物権)
	民法Ⅱ(物権)	民法Ⅴ(契約法)
	民法Ⅳ(債権総論)	

⇒『履修のてびき』P.42～44

☆「必修」

単位を絶対に修得しないと卒業できない科目のこと。
単位が修得できなかった場合は「再履修」。

⇒『履修のてびき』P.45

⇒『履修のてびき』P.46-49

⇒『年次配当表・時間割表』

P.17-18、P.90

⇒『履修のてびき』P. B-10

⇒『年次配当表・時間割表』

P.44、P.115、P.129

7 (B) 選択科目（選択科目）

44 単位必要。

44 単位を超える単位は、(C) 選択科目に振り替えられる。

8 (C) 選択科目

24 単位必要。

(B) 選択科目、(D) 演習科目の各卒業必要単位数を超える単位を含めることができる。

① (C) - (a)、(C) - (d)

配当表に定める科目。

② (C) - (b)

本学科に配当されていない第1部経営学科、第2部経営学科の科目。
ただし別に定める(☆)同種科目は重複履修できない。

③ (C) - (c)

全学共通科目【外国語科目・広域科目】の余剰の単位、および本学部に配当されていない全学共通科目【オープン科目】（最大8単位まで）。

9 (D) 演習科目

10 単位必要。

10 単位を超える単位は、(C) 選択科目に振り替えられる。

学年	春学期	秋学期
2 年次	—	演習Ⅰ、特別演習
3 年次	演習Ⅱ	演習Ⅲ
4 年次	卒業研究（通年）	

※卒業研究は 4 単位科目、他 2 単位科目

① 演習Ⅰ、特別演習

2 年次の春学期に別途募集。

② 演習Ⅱ、演習Ⅲ

演習Ⅰに引き続き、同じゼミで履修。

③ 卒業研究

演習Ⅲに引き続き、同じゼミで履修。

2 コース所属について

スペシャリスト養成コースに興味がある場合は、『履修のてびき』P. B-14~18 を確認しておくこと（任意、1 年次秋学期募集）。

3 履修登録について（※2022 年度春学期は特別対応。KVC および右記 URL で確認すること）

1 科目の選択について

毎学期、卒業に必要な科目を優先して選択する。

『履修のてびき』『年次配当表・時間割表』『講義計画（シラバス）』『KVC の掲示』を確認すること。

2 履修できる科目について

* 『年次配当表・時間割表』の配当年次に適合する学年の科目が履修可能。

* 同じ科目は重複して履修できない。

* 大学に指定された科目は必ず履修。

* 先修条件を満たした科目。

3 履修できる単位数について

以下に定められた単位数以内で科目を選択する。

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計
学 期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
単位数	22	22	24	24	24	24	24	24	188

☆「別に定める…」

⇒『年次配当表・時間割表』
P.83~87

⇒『履修のてびき』P.48

⇒『年次配当表・時間割表』
P.18、P.44

☆「全学共通科目【オープン科目】」

他学部が開放している科目。
オープン科目「グローバル科目」は、すべて英語による授業。

☆「演習科目」

ゼミ。非常に大切な科目です。
必ず履修しましょう。

☆「特別演習」

「演習Ⅰ」に加え「特別演習」を同時に履修することが必要なゼミもあります。

☆「コース所属」

現在、皆さんはビジネス法
コースに所属しています。

▼予備登録・履修登録について
<https://www.osaka-ue.ac.jp/education/rishu.html>

⇒『履修のてびき』P.12

☆「先修条件」

前提となる科目を修得していないと履修できないこと。ハイレベルな内容を取り扱う科目に多い。

⇒『履修のてびき』P.13

4 予備登録について

受講者が多くなる全学共通科目（健康とスポーツ科目など）、コンピュータ実習室を利用する学科専攻科目は、希望者全員を受け入れることが困難。そのため事前に希望を登録し受講者数を調整することを**予備登録**という。

5 履修登録・予備登録の方法について

インターネットに接続できる環境があれば学外からでも可能。各種日程変更等の可能性もあるので、必ず最新情報を以下より確認してください。

<https://www.osaka-ue.ac.jp/education/rishu.html>

6 シラバスについて

講義の内容や評価の方法、受講に際する注意点などが閲覧できる。受講する科目のシラバスは必読のこと。

大学HP から閲覧 <https://syllabus.osaka-ue.ac.jp/>

KVC から閲覧 <https://kvc.osaka-ue.ac.jp/>

4 授業を受けるに際して

1 授業時間

1 時限（1 コマ）は 90 分

時限	時間帯
1 時限	9:00～10:30
2 時限	10:45～12:15
3 時限	12:50～14:20
4 時限	14:35～16:05

時限	時間帯
5 時限	16:20～17:50
6 時限	18:00～19:30
7 時限	19:40～21:10

※定期試験期間中の時間は上記とは異なるので、注意が必要。

2 出席情報

教室に入室したら、出席情報収集システムのカード読取機に学生証を読み取らせる。

3 休講・補講

やむを得ない都合により、授業が休講になるケースがある。
KVC を毎日確認すること。また、補講が行われることもある。

KVC <https://kvc.osaka-ue.ac.jp/portal/>

5 試験・レポートについて

『履修のてびき』P.22～26 を熟読しておくこと。

⇒『履修のてびき』P.13

⇒別紙

『2022 年度春学期
予備登録について』

☆「質問がある場合」

電話・メールでの質問には対応不可。質問があれば教務部窓口へ。

⇒『履修のてびき』P.17～21

☆「学生証を忘れたら」

出席をとる授業の場合、担当の先生に申し出てください。教務部に届け出る必要はありません。

☆「KVC」

大学生活に必要な情報を個人ごとに参照できるサイト。履修情報などの情報を提供しています。

<春学期の時間割の考え方> 自分で考えて登録する科目は何単位分？

●春学期に時間割に入れることができる科目は次の【A】【B】の2種類があります。

【A】大学側ですでに登録している科目

【B】自分で考えて登録する科目

●【A】と【B】の合計単位数は最大で22単位です。

自分が外国語を何力国語選択しているかで、【A】と【B】の合計数はそれぞれ違います。

下記の表で、自分で登録する最大の単位数を確認し、科目を考える参考にして下さい。

【A】大学側ですでに登録している科目	1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
全学共通科目〔外国語科目〕の必修外国語科目、学部基礎科目	<合計>12単位分	<合計>14単位分
【B】自分で考えて登録する科目	1ヶ国語選択の学生	2ヶ国語選択の学生
配当年次が「1」の科目から自分で選択し登録する。 例：全学共通科目〔外国語科目〕の選択外国語科目、全学共通科目〔広域科目〕の①～④および⑥の科目や、学科専攻科目の基幹科目など	最大で10単位分 まで自分で登録可能	最大で8単位分 まで自分で登録可能